

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

開講科目名 / Course	南紀熊野の自然A / Nature of Nanki Kumano A	
時間割コード / Course Code	R1001137_G1	
開講所属 / Course Offered by	共通 /	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 第1クォーター / 1Q	
曜限 / Day, Period	他 / Otr	
開講区分 / Semester offered	前期 / the former term	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1,2,3,4	
主担当教員 / Main Instructor	古賀 庸憲 / Koga Tsunenori	
授業形態 / Lecture Form	講義・演習	
教室 / Classroom	南紀熊野サテライト / 南紀熊野サテライト	
開講形態 / Course Format		
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy		
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	古賀 庸憲 / Koga Tsunenori (教育学部(教員))、此松 昌彦 / Konomatsu Masahiko (教育学部(教員))	
授業の概要・ねらい / Course Aims	南紀熊野地域の沿岸部などの丘陵部、海岸付近の地形・地質、植生、海岸の生物に焦点をあてて、地域の自然特性などを学ぶ。これらを次世代にどう残していくのか考える機会とする。	
到達目標 / Course Objectives	南紀熊野の沿岸の地形・地質、海岸植生、磯の生物を総合的に学び、保全すべき生物多様性とジオの多様性について理解する。	
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	各回レポート課題を出して提出してもらおう(90%)。受講生の現地での態度(質問や意見などのやり取り10%)で行う。	
教科書 / Textbook	特になし。資料は随時紹介します。	
参考書・参考文献 / Reference Book	記載事項なし	
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	各回ともフィールドでの観察を含みます。そのためそれぞれ最寄り駅の集合になります。最寄り駅、服装等、持ち物など詳細は南紀熊野サテライトホームページやメール等でお知らせします。	
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	泉南の自然A	
授業時間外学修(予習・復習等)の内容 / students learning outside of the class, preparation and review are included	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。	
その他連絡事項 / Other messages	記載事項なし	
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	授業で訪問する場所の情報をホームページ等で調べて、事前にどんな生物が生育しているのか、どんな地質・地形をしているのかを予習しておいてください。 本授業は大学外においてさまざまな活動を体験することにより学びを深めるものである。【「アクティブ・ラーニング」実施要項(3)】	
オフィスアワー / Office Hours	水曜日の昼休み	
科目ナンバリング / Course Numbering	C25011J103011h1	
実務経験のある教員等による授業科目 / Practical Experience	実践的教育 / Practical Education	1. 該当しない
	実践的教育の内容 / Contents	

授業計画詳細 / Course schedule

回 (日時) / Time (date and time)	主題と位置付け / Subjects and position in the whole course	学習方法と内容 / Methods and contents	備考 (担当) / Notes
1回 (5月16日10時～15時)	干潟生物の観察と講義	内之浦干潟で生き物の観察・Big-Uで干潟の役割など講義	古賀
2回 (5月30日10時～15時)	植生・植物の観察	天神崎で沿岸域の植生・植物を観察する	高須 (ゲストスピーカー)・古賀
3回 (6月13日10時～15時)	地質・地形の観察	白浜の番所山周辺の崖や干畳敷で地層の観察を行い、どのように堆積したのかを考える。	此松